日本循環器病予防学会誌投稿規程

1．地域、職域などにおける循環器疾患の管理に役立つ、循環器疾患の成因、病態、予防、治療、リハビリテーション、あるいは組織体制などに関する論文を掲載する。
2．投稿原稿の筆頭著者は、日本循環器病予防学会会員でなければならない。但し、編集委員会から依頼した原稿についてはこの限りでない。
3．他誌に発表された原稿（印刷中、投稿中のものも含む）の投稿は認めない。
4．本誌掲載論文の著作権は、一般社団法人日本循環器病予防学会に帰属する。
5．本誌は原則として投稿原稿およびその他によって構成される。
　1）投稿原稿の種類と内容は表1のとおりとする。
　2）本誌には上記のほか編集委員会が認めたものを掲載する。
　3）論壇、総説、会員の声については、特に形式を定めない。原著および報告の構成は原則として表2のとおりとする。
　4）投稿論文の制限頁数は8頁（15,000字）とする。図、表は文字数に含み、1枚につき400字換算とする。文献は文字数に含めない。制限頁数を越える場合は、著者の費用負担が生じる。

表1．投稿原稿の種類

種　類	内　容
1．論壇	循環器病予防に関する活動、政策、動向などについての提案・提言
2．総説	研究・調査論文の総括及び解説
3．原著	循環器病予防の上で重要な科学的な研究・調査の新規知見に関する論文
4．報告	循環器病予防に関する調査報告、症例報告、資料、受賞報告など
5．会員の声	掲載論文に関する意見、海外事情、関連学術集会の報告など

表2．投稿原稿の構成（原著、報告）

項　目	内　容
要約	目的・方法・結果・結論にわけて、見出しをつけて記載すること（1,000字以内）
キーワード	6個以内
Ⅰ．緒言	研究の背景および目的
Ⅱ．方法	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方、倫理的配慮など
Ⅲ．結果	研究等の結果・成績
Ⅳ．考察	研究の考察・評価、結語
謝辞等	謝辞、当該研究への助成、利益相反（COI）など
文献	文献の記載は8-12）に従う

6．投稿及び論文掲載に関する著者の費用負担は以下のとおり定める。
　1）投稿料は無料とする。
　2）投稿原稿が採用された場合の掲載料は、上記の制限頁数以内であれば無料とする。制限頁数を越える場合は、超過頁数1頁あたり7,500円の著者負担とする。
　3）別刷30部は無料とする。
7．編集委員会は、必要に応じて原稿執筆を依頼する。たとえ依頼原稿であっても、執筆料は支払われない。依頼原稿の構成、制限文字数、超過頁の著者の料金負担については原則として上記に従う。但し、編集委員会が原稿依頼時に別途定める場合はその限りではない。
8．投稿原稿の執筆要領
　1）原則としてワードプロセッサーを使用し、A4版の用紙に横書きで25字×32行（800字）として印字する。数字およびアルファベットは原則として半角とする。
　2）原稿の表紙には、表題、著者名、所属機関、原稿の種類（表1参照）、文字数（表紙から謝辞までの文字数、および図、表1枚400字換算で計算した文字数の和）、図、表の枚数、編集委員会への連絡事項、別刷必要部数、および投稿責任著者の氏名および連絡先（所属機関、所在地、電話、ファックス、電子メールアドレス）を記す。異なる機関に属する者が共著である場合は、各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。
　3）原著および報告については、要約をつける。要約は1,000字以内とし、【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて、見出しをつけて記載する。
　4）本文中の数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。
　5）外来語は片仮名で記載する。外国人名や適当な日本語のない術語などは原綴を用いる。
　6）年の表記は、原則西暦を用いる。元号表記は、行政資料の名称など、どうしても必要な場合とする。
　7）図、表には図1、表1などと番号を振り、表題をつける。図には必要であれば説明文をつける。図、表は、本文とは別に巻末にまとめ、本文原稿の欄外にそれぞれの挿入希望位置を赤字で指定する。図、表を印刷する際は1頁につき1点とし、1頁に複数の図表を印刷しない。図は白黒とし、そのまま印刷にまわすので手札判（縦10.8cm×横8.25cm）の大きさで作成する。ただし、印刷に耐えない場合は、印刷所で改めて作成されるが、その実費（トレース代）は著者負担とする。
　8）編集委員会は必要に応じて投稿された論文に付録資料を付けることを認める。認められた付録資料については、本誌のオンライン版を掲載するウェブサイト本文中に当該付録資料のURLのリンクを掲載することができる。
　　なお、付録資料については著者からの提出原稿をそのまま公開するため、付録資料の掲載費用は不要とする。
　9）原著には英文抄録をつける。報告には英文抄録をつけることができる。英文抄録は、別紙に表題、著者名、所属機関、抄録（400語以内）、キーワード（6個以内）をダブルスペースでタイプする。構成は和文抄録と同様に、Objective（目的）、Methods（方法）、Results（結果）、Conclusion（結論）に分けて、見出しをつけて記載する。編集委員会では英文校正は行わないので、必要があれば著者が責任をもって専門家による英文校正を受けることとする。
　10）投稿原稿の内容が倫理的配慮等を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載すること。なお、ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、臨床研究

Presented by Medical*Online

法、あるいは他の適切な指針や規制に従うこと。動物を対象にした研究では、実験が実施された組織における実験動物に係わるガイドラインに則した研究であることが求められる。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に該当する研究については、研究機関の倫理審査委員会等で審議され研究機関の長の承認を得ていることを、審議した委員会等の名称および承認年月日とともに本文中（II. 方法）に記載する。臨床研究法における「特定臨床研究」に該当する研究については、審議した認定臨床研究審査委員会の名称および承認年月日を本文中（II. 方法）に記載する。

11）当該研究遂行や論文作成に際して、公的研究費および企業・団体等から研究費助成、試料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞等にその旨を記載しなければならない。

12）投稿にあたってすべての著者は投稿時に、「日本循環器病予防学会誌　投稿時COI自己申告書および著作権委譲承諾書」を提出しなければならない。COI自己申告の内容については、本文の謝辞等にもその内容を記載する。COI状態がない場合でも自己申告書は提出し、謝辞等には「開示すべきCOI状態はない。」などの文言を記載する。

13）文献記載の様式

（1）文献は本文の引用箇所の肩に[1)]、[1)~5)]などの番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が3人までは全員、4人以上の場合は3人までを挙げ、4人目以降は省略して、3人の著者名『, 他.』（英文は、『, et al.』）とする。

（2）雑誌などの略名は、邦文誌は日本医学雑誌略名表（日本医学図書協会編）に、欧文誌はIndex Medicusに従って記載する（なお、雑誌所定のものがあればこれを用いる）。

（3）記載方法は、下記の例に従う。

① 雑誌の場合

著者名. 表題. 雑誌名　発行年（西暦）; 巻：頁-頁.

1）三浦久美子, 宮田陽子, 島林慶子, 他.「薬に頼らずコレステロールを下げよう教室」の取り組みについて. 日本循環器管理研究協議会雑誌　1997; 31: 224-227.

2）Ueshima H, Mikawa K, Baba S, et al. Effect of reduced alcohol consumption on blood pressure in untreated hypertensive men. Hypertension 1993; 21: 248-252.

掲載準備中の論文を引用する際は、Digital Object Identifier（DOI）を記載する。

3）Satoh A, Arima H, Ohkubo T, et al. Associations of socioeconomic status with prevalence, awareness, treatment, and control of hypertension in a general Japanese population: NIPPON DATA2010. J Hypertens (in press), doi:10.1097/HJH.0000000000001169.

② 単行本の場合

著者名. 書名. 発行所所在地：発行所, 発行年（西暦）; 頁-頁.

4）厚生省保健医療局健康栄養増進課. 健康づくりのための食生活指針. 東京：第一出版, 1987; 15-17.

5）Francis RB. Atherosclerotic cardiovascular disease, homeostasis, and endothelial function. New York: Marce Dekker, 1992: 183-236.

③ 訳本の場合

6）Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford: Oxford University Press, 1983；重松逸造, 春日斉, 柳川洋訳, 疫学辞典. 東京：日本公衆衛生協会, 1987; 60-61.

④ 原則として、特殊な報告書、投稿中原稿、私信などで一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を差し控える。

⑤ インターネットのサイトは、他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用しても良いこととする。この場合、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともに、最後にアクセスした年月日も付記すること。

7）厚生労働省. 平成27年国民健康・栄養調査結果の概要. http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10904750-KenkoukyokuGantaisakukenkouzoushinka/kekkagaiyou.pdf（2017年7月1日アクセス可能）

8）World Health Organization. The health goal-Indicators of overall progress. World Health Statistics 2016: Monitoring health for the SDGs. http://www.who.int/gho/publications/world_health_statistics/2016/en/（2017年7月1日アクセス可能）

9．原稿ならびに「投稿時COI自己申告書および著作権委譲承諾書」は下記いずれかの方法で送付する。
なお、「投稿時COI自己申告書および著作権委譲承諾書」は、責任著者が全員分をまとめて投稿論文とともに事務局に送付する。

① 郵送の場合
原稿は表紙、本文、図、表、英文抄録、など全てプリントアウト（正1部、副1部の計2部）し、データを保存したメディア（CD-R、USBメモリー等）を併せて送付する。

② E-mailの場合
文字原稿（抄録および本文）、表、図を1つのファイルにまとめるか、文字原稿、表、図をそれぞれ1つのファイルにして投稿論文表紙とともに送付する。

10. 依頼原稿、投稿原稿とも、編集委員会が依頼する査読者によって査読され、内容の変更が求められる場合もある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿する。再投稿の際には、修正箇所を下線等で明示した原稿と、指摘された事項への対応を具体的に説明する回答を別につける。返送から3ヶ月以上経過した場合は投稿取り下げとみなす。なお、特別な理由で延長する場合は必ず事務局に連絡すること。

11. 投稿原稿の採否は、編集委員会で審議して決定する。

12. 校正
初校から校了まで著者と印刷所の間で行う。著者校正の際の内容の加筆・修正は認めない。

13. 別刷30部は無料とする。30部を超えるものについては、別途、価格表に基づいて料金を徴収する。

14. その他、本規程に関する問い合わせは事務局へ。

15. 原稿送付先、問い合わせ先

一般社団法人 日本循環器病予防学会
〒161-0034　東京都新宿区上落合3-9-1
北村ビル402号室
TEL 03-6304-0760　　FAX 03-6304-0565
メール office@jacd.info

2024年3月24日改正

Presented by Medical*Online

日本循環器病予防学会誌　投稿時COI自己申告書および著作権委譲承諾書

筆頭著者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　記載者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．COI状態の申告

（投稿時から遡って過去3年間での発表内容に関係する企業・組織または団体とのCOI状態を記載）

項　　目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有 ・ 無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5％以上保有	有 ・ 無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有 ・ 無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑤原稿料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑥研究費・助成金など 1つの企業・団体から、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のもの	有 ・ 無	
⑦奨学（奨励）寄付など 1つの企業・団体から、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のもの	有 ・ 無	
⑧企業などが提供する寄付講座 企業などからの寄付講座に所属している場合	有 ・ 無	
⑨研究員の受け入れ 企業などからの受け入れがある場合	有 ・ 無	
⑩薬剤・機材などの研究用物品、設備、場所、役務などの無償または有利な価格での受け入れ 企業などからの受け入れがある場合	有 ・ 無	
⑪旅費・贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有 ・ 無	
⑫企業退職後、5年以内に研究機関へ転職 転職した場合、所属した企業名	有 ・ 無	

（本COI申告書は論文掲載後5年間、学会事務局において保管されます）

申告日：＿＿＿年＿＿月＿＿日　　署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．著作権の委譲について

上記論文が日本循環器病予防学会誌に採用された場合、当該論文の著作権を日本循環器病予防学会に委譲することを承諾します。当該論文の内容に責任を持ち、論文の内容は過去に他誌に掲載されておらず、現在も掲載が予定されていません（投稿中のものを含む）。さらに、本論文の採否が決定するまでは他誌に投稿しません。

以上、誓約いたします。

日　付：＿＿＿年＿＿月＿＿日　　署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記は筆頭著者のみ回答してください。

3．研究倫理審査委員会／臨床研究審査委員会の承認の有無

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」または「臨床研究法」に該当する研究については、研究機関等の倫理審査委員会／臨床研究審査委員会等で審議され承認を得ています。

いずれかに☑をつけてください。

□承認済み

□未承認（※未承認の場合は、投稿を受け付けません。）

□「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」または「臨床研究法」に該当しない

Presented by Medical*Online